

---

**第2期**  
**豊岡市地方創生総合戦略**  
**第5版**



2020 年度～2024 年度

2023 年 8 月

兵庫県 豊岡市

---

## も く じ

I	人口予測と分析	.....	1
1	人口予測（基準推計人口）	.....	1
2	人口減少の要因	.....	2
3	人口減少による地域への影響	.....	3
II	豊岡市地方創生総合戦略	.....	4
1	人口減少トレンドの緩和	.....	4
(1)	人口減少抑制対策の柱	.....	4
(2)	2040年の目標人口（人口ビジョンから）	.....	5
2	住民基本台帳データによる人口移動分析	.....	6
(1)	自然減少・社会減少と傾向	.....	6
(2)	転入元・転出先	.....	7
3	進行する人口減少下における地域活力の維持	.....	8
4	人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持 （ローカル&グローバルの推進）	.....	8
5	第2期豊岡市地方創生総合戦略の新たな視点	.....	9
(1)	多様性を受け入れるまちづくり	.....	9
ア	女性に選ばれるまち（ジェンダーギャップの解消）	.....	9
イ	外国人市民との共生推進	.....	9
(2)	深さをもった演劇のまちづくり	.....	10
(3)	芸術文化観光専門職大学との連携	.....	10
6	第2期豊岡市地方創生総合戦略体系図	.....	10
7	戦略の期間	.....	12
8	戦略の進め方	.....	12
9	第2期豊岡市地方創生総合戦略に基づく事業・指標	.....	13
	参考資料 2020年国勢調査結果の概要	.....	31
1	人口	.....	33
2	年齢別人口	.....	34
3	配偶関係別人口	.....	36
4	外国人	.....	39
	【参考】豊岡市の若者回復率	.....	40

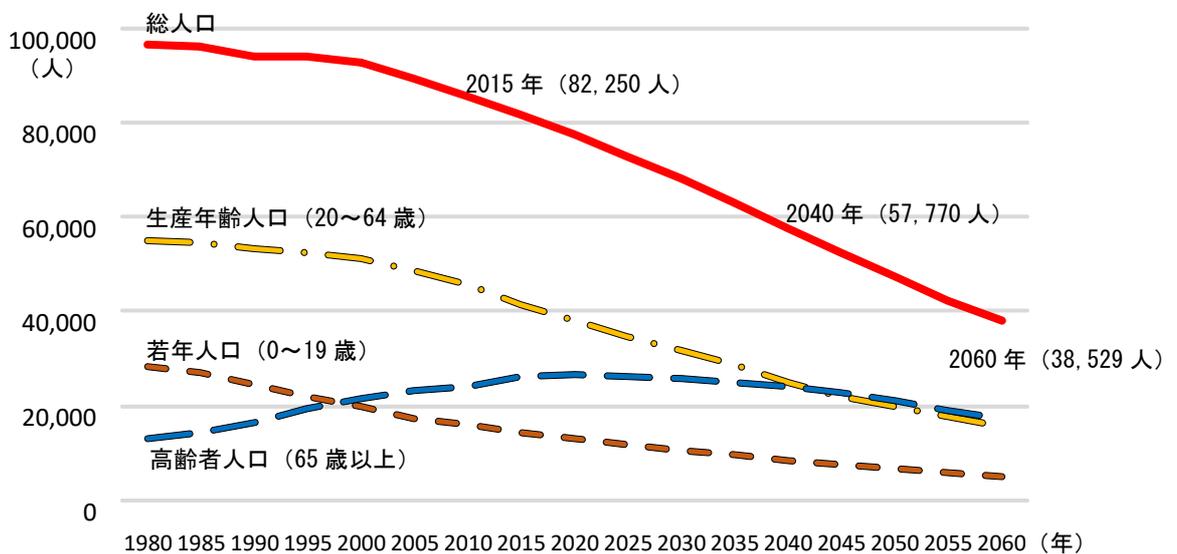
# I 人口予測と分析

## 1 人口予測（基準推計人口）

豊岡市の人口は、今後減少のペースを加速し、2015年に82,250人であったものが2040年には57,770人（2060年には38,529人）になると推計されている（この推計人口を戦略の「基準推計人口」とする）。

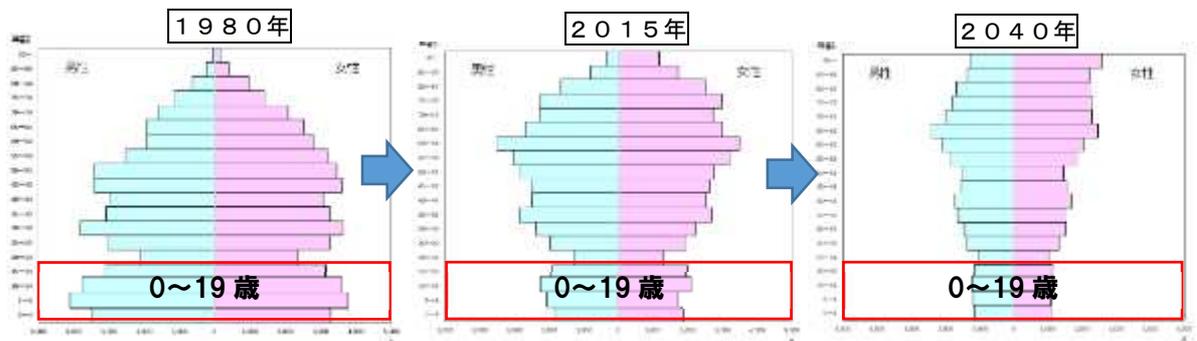
その減少率とりわけ0歳から19歳の若年人口で大きく、人口減少は今後さらなる少子・高齢化を伴いながら進み、2040年には、1人の高齢者を生産年齢人口1.0人（2060年には0.9人）で支える人口年齢構造になると予測されている（図1、図2）。

【図1】 総人口と年齢3区分別人口の推移（1980～2060年）



（出典：1980～2015年は総務省統計局「国勢調査」，2020年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供人口推計ワークシート（CD-ROM）により作成した独自推計）

【図2】 豊岡市の人口ピラミッドの推移（1980、2015、2040年）



（出典：国勢調査・2040年は市推計）

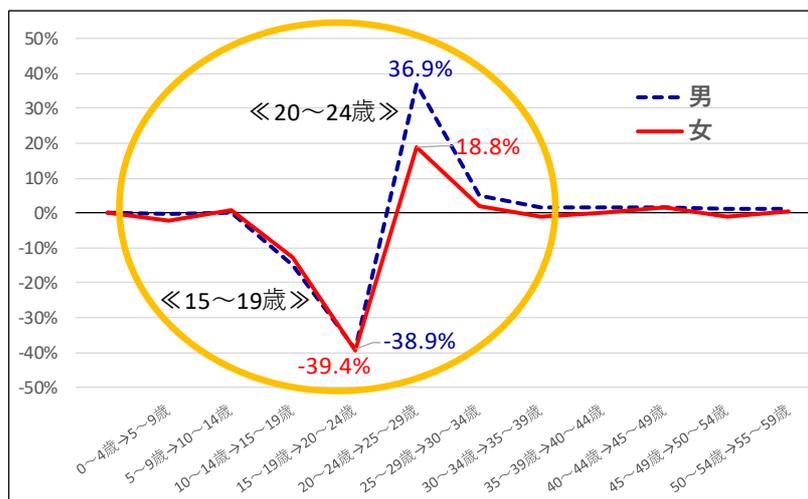
## 2 人口減少の要因

豊岡市の人口移動は、①ほとんどの年齢層で転入・転出の数がほぼ均衡しているのに対し、②高校卒業後の就職・進学期（15～19歳）に大きく転出超過が見られ、③逆に専門学校・大学卒業後の就職期（20～24歳）に大きな転入超過となっているが、④15～24歳のトータルとしては、大幅な転出超過となっている（図3）。

加えて、未婚率が上昇している（図4）ことから、出産適齢期の夫婦の数が減少して出生数が低下するとともに、その減少した子どもたちが成長して大学等に進む段階でまた転出超過になる、という悪循環にある。

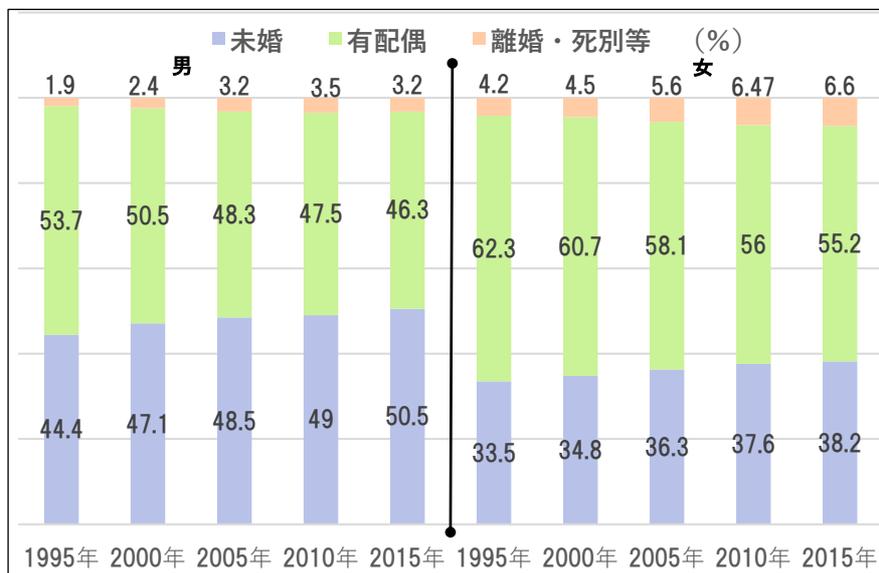
他方で、近年、有配偶者女性1人当たりからの出生数は減少していないと推定できる（図5）ことから、今後急速に進む豊岡市の人口減少の主な要因は、上述の若者の転出超過と未婚率の上昇にあると考えられる。

【図3】 年齢性別・純移動率（2010～2015年）



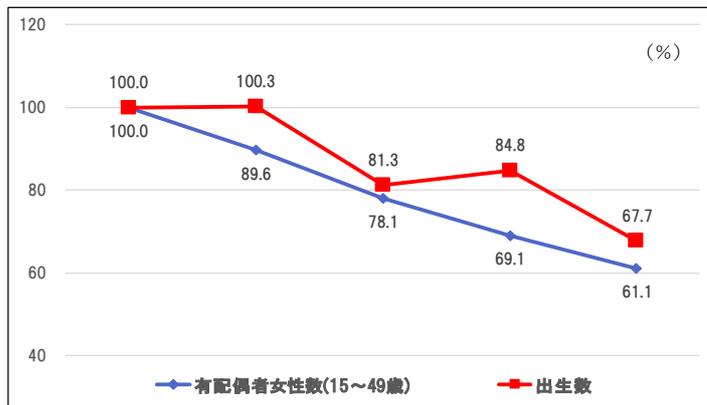
（出典：中嶋圭介氏（神戸市外国語大学准教授）の資料をもとに作成）

【図4】 男女別 未婚率・有配偶者率等の推移（15～49歳／1995～2015年）



（出典：国勢調査）

【図5】 有配偶者女性数（15～49歳）と出生数の推移



※1995年を起点  
（100%）としたと  
きの率で表示

有配偶者女性数の減  
少率ほどには出生数  
は減少していない。

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
有配偶者女性数 （人） （15～49歳）	12,483	11,191	9,753	8,623	7,624
出生数（人）	900	903	732	763	609

（出典：国勢調査、兵  
庫県統計課「兵庫県の  
人口の動き」）

### 3 人口減少による地域への影響

2040年までの25,000人近い人口減少は、現在の「豊岡地域の56%」、「城崎・竹野・日高地域のすべて」又は「城崎・竹野・出石・但東地域と日高地域の13%」の人口が消滅する事態に匹敵する（図6）。

しかも、この人口減少はさらなる少子・高齢化を伴いながら進行することから、推計のとおり人口減少が進むとすると、豊岡市は、コミュニティの崩壊・消滅、公共交通網の崩壊、地域経済の衰退、財政悪化に伴う行政サービスの低下、医療・介護などの社会保障費の増大等、深刻な打撃を受けることが明らかである。

【図6】 人口減少の破壊カイメージ（灰色の地域に相当する人口が消滅する）

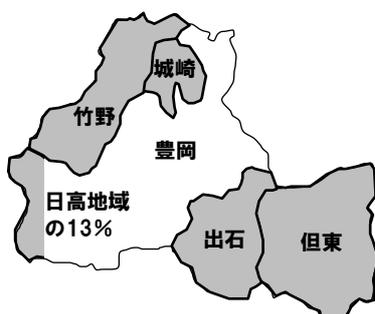
① 豊岡地域の56%が消滅



② 城崎・竹野・日高地域のすべてが消滅



③ 城崎・竹野・出石・但東地域と日高地域の13%が消滅



豊岡市の人口

地域名	人口
豊岡	43,375人
城崎	3,519人
竹野	4,496人
日高	16,609人
出石	9,996人
但東	4,255人
豊岡市計	82,250人

（出典：2015年国勢調査）

## Ⅱ 豊岡市地方創生総合戦略

### 1 人口減少トレンドの緩和

#### (1) 人口減少抑制対策の柱

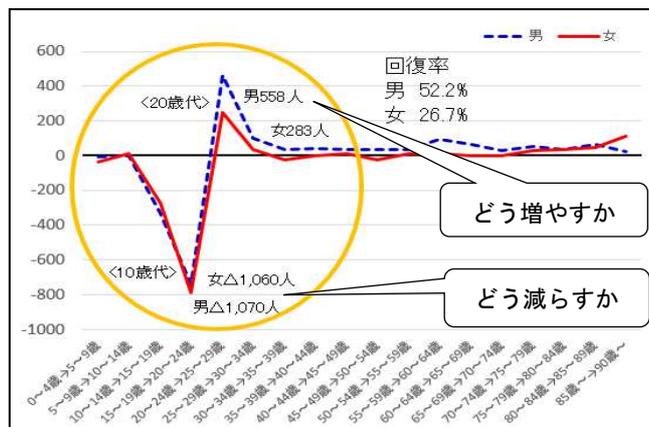
人口減少対策は、これまでも過疎対策等、様々になされてきた。しかしその多くは、人口減少を前提にした上でその悪影響にどう立ち向かうかという、いわば適応型の対策であった。

私たちは、今後予測される人口減少の圧倒的な量の破壊力を直視し、将来世代のために、何よりもまず人口減少の抑制を全力で図らなければならない（量的緩和）。

具体的には、前述の豊岡市における人口減少の要因分析に基づき、減少要因そのものに手を付けることとし、定住する若者、とりわけ本市での女性の若者回復率が男性に比べて低いことから、若い女性を増やすこと（図3-2、図3-3）と結婚する若者を増やすことを対策の柱に据えることとする。

\*若者回復率：10歳代の転出超過数に対して20歳代の転入超過数数が占める割合。

【図3-2】若者回復率（2010～2015年）



（出典：中嶋圭介氏（神戸市外国語大学准教授）の資料をもとに作成）

【図3-3】若者回復率の推移



（出典：国勢調査）

(2) 2040年の目標人口（人口ビジョンから）

人口減少の要因分析に基づき、達成可能性も考慮して、次のとおり量的緩和に関する目標を設定する。

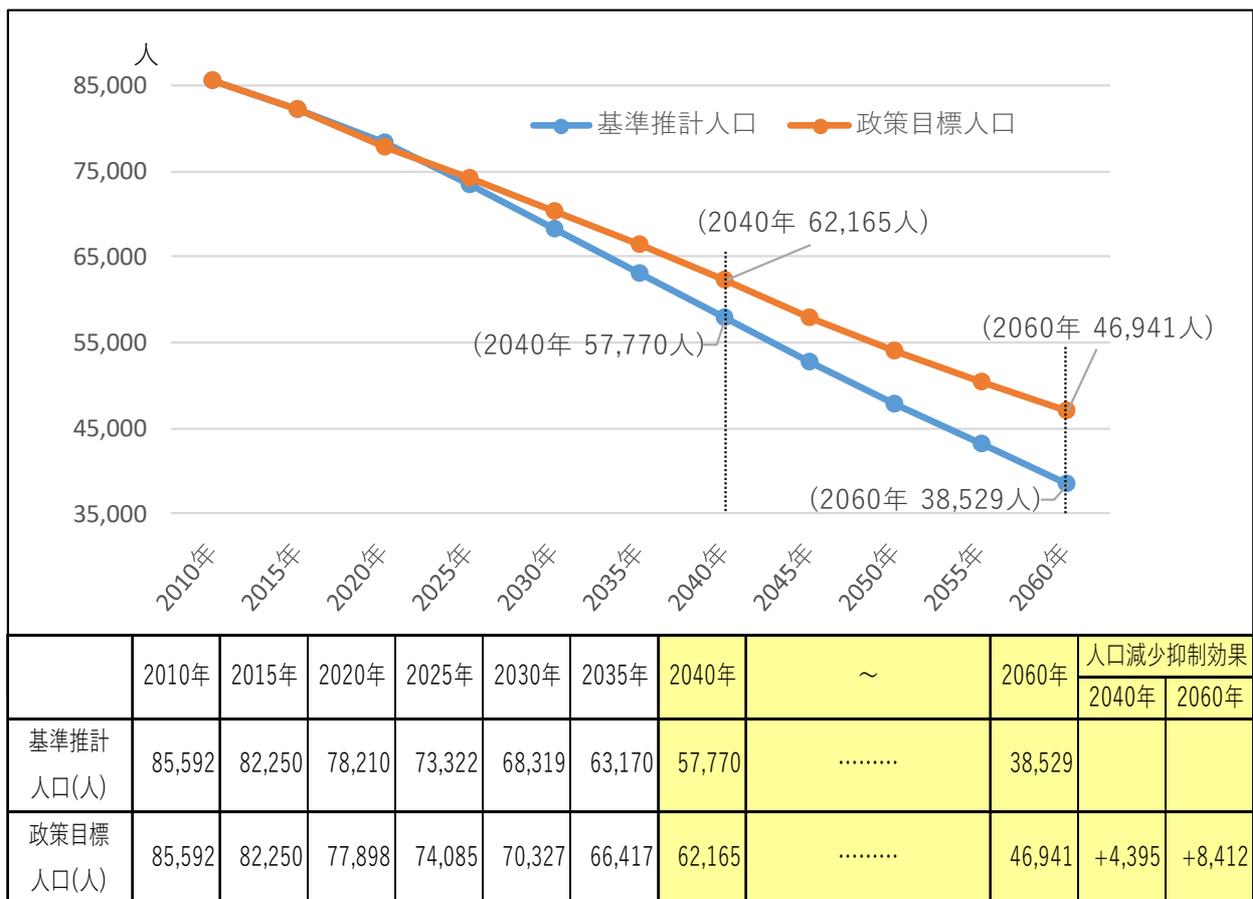
ア 合計特殊出生率を1.82（2008～2012年の5年間を基にしたベイズ推定値）から2035年までに2.3に引き上げる。

イ 若者回復率を現在の39.5%（2010～2015年国勢調査）を2025年度までに50%に引き上げる。

ウ これらのことによって得られる2040年における推計値を「政策目標人口」として設定する（図7）。**政策目標人口（2040年）＝62,165人**

なお、2040年段階での緩和数は小さなものであるが、その意義を過小評価してはならない。2060年段階では基準推計人口に対し8,412人の緩和効果が見込まれる。私たちは、将来世代のために、長期的視点に立って緩和策を進める必要がある。

【図7】 合計特殊出生率・若者回復率に関する目標値の総人口推計への反映



(出典：基準推計は2019年推計、政策目標推計は2015年推計)

## 2 住民基本台帳データによる人口移動分析

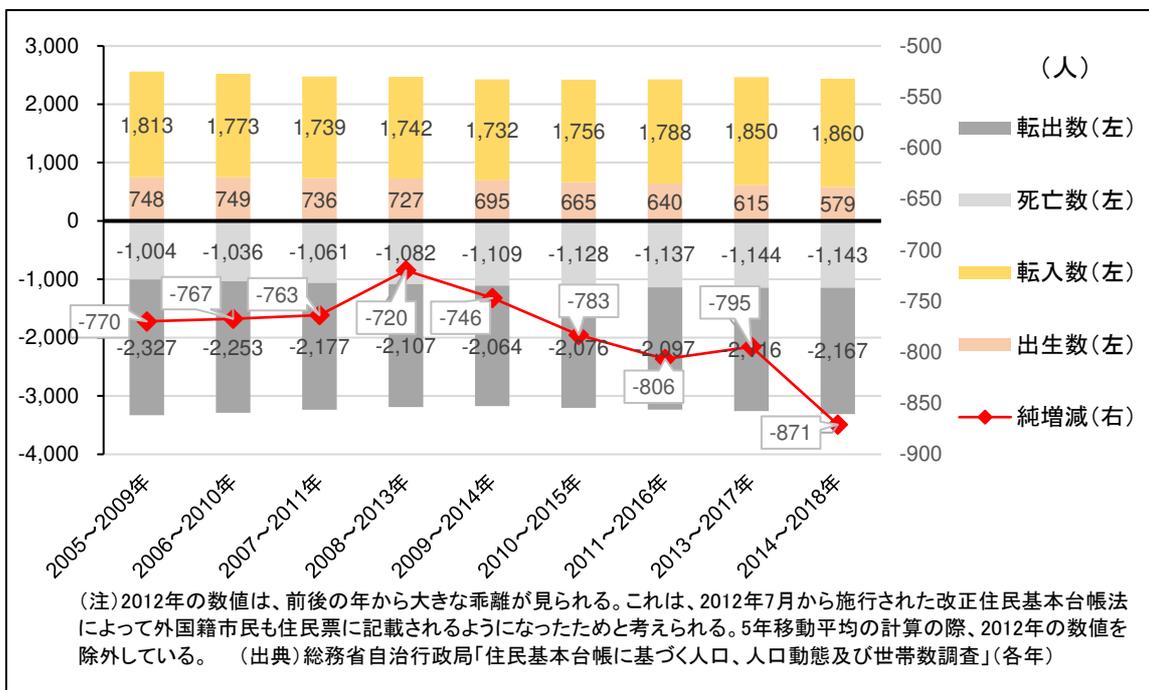
### (1) 自然減少・社会減少と傾向

豊岡市の人口移動（転入・転出）を住民基本台帳データによって分析したところ、第1期総合戦略（2015～2019年）の実施前と実施期間中のトレンドに大きな変化は見られない。死亡数増加・出生数減少によって自然減少が拡大する一方、主に20歳代男性の転入超過数の増加によって、社会減少にやや縮小傾向が見られる。この社会減少の改善が一時的か、持続的か、引き続き見守る必要がある（図8）。

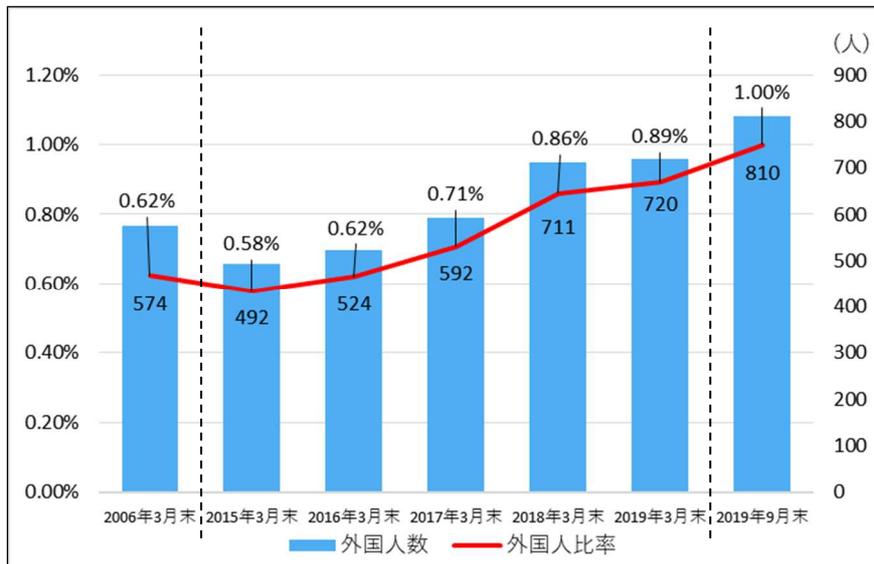
また、外国籍市民は、豊岡市の総人口の約1%となり、年々増加している（図9）。

※「外国籍市民」は住民基本台帳で国籍が日本以外の方を指します。「外国人市民」は住民基本台帳で国籍が日本であっても外国にルーツを持つ方々を包含しています。

【図8】自然増減（出生数・死亡数）と社会増減（転入数・転出数）の移動平均の推移



【図9】外国籍市民数の推移



(出典：豊岡市住民基本台帳)

## (2) 転入元・転出先

豊岡市の日本人男性の移動パターンは、高卒と同時に進学・就職で大阪・京都、あるいは県内都市部へ移動し、大学・専門学校の卒業時にUターンするのが一般的である。一方、豊岡市の日本人女性は、男性と比べて15～19歳時の転出数は変わらないが20歳代の転入者は少ない。

地域・性別に見ると、2012～2018年、但馬内からの男性転入者が総数に占める割合は15.3%から15.8%でほぼ変化が無いのに対して、女性転入者の割合は、19.3%から22.9%へ上昇傾向が見られる。また、同期間、男性の但馬内移動数は38人から33人の転入超過でほぼ一定なのに対して、女性の移動数は17人から49人の転入超過に増加している（表1）。

すなわち、豊岡市は但馬内の他の自治体に対して男女とも転入超過の関係性を持ち、特に女性でその関係性は顕著である。これは、他市町の若い女性が親元から独立、あるいは、結婚を機に本市に転入しているものと考えられる。

以上から、豊岡市の男性に比べて低い女性回復率は、但馬内周辺自治体に少なからず依存し、その依存度は高まっている可能性がある。豊岡市より厳しい人口動態に直面する周辺自治体からの転入に依存していることは、豊岡市の将来的な若者回復率、出生力等の見通しが予想以上に厳しいことを示唆していると考えられる。

【表1】 性別・転出元・転入先別の移動者数（2012年、2018年）

	2012年						2018年					
	男性			女性			男性			女性		
	転入 (人)	転出 (人)	転入-転 出(人)									
全国(A)	889	1033	-144	758	994	-236	811	1033	-222	677	996	-319
県外	473	563	-90	396	556	-160	442	586	-144	338	545	-207
県内(B)	416	470	-54	362	438	-76	369	447	-78	339	451	-112
県内但馬外	280	372	-92	216	309	-93	241	352	-111	184	345	-161
県内但馬内(C)	136	98	38	146	129	17	128	95	33	155	106	49
県内移動(B/A)	46.8%	45.5%	37.5%	47.8%	44.1%	32.2%	45.5%	43.3%	35.1%	50.1%	45.3%	35.1%
但馬内移動(C/A)	15.3%	9.5%	-26.4%	19.3%	13.0%	-7.2%	15.8%	9.2%	-14.9%	22.9%	10.6%	-15.4%

（出典）兵庫県「住民基本台帳に基づく都道府県及び市区町村別詳細分析表」（2019）

### 3 進行する人口減少下における地域活力の維持

現在の人口構造、社会移動、出生率の現状等を踏まえると、減少をゼロにすることは、長期にわたって不可能である。それどころか、人口ビジョンで明らかになったとおり、量的緩和策が功を奏したとしても、その2040年段階での効果は、2015年と比べた推計減少人口24,480人に対し4,395人の緩和と小さなものである（図7）。人口減少は依然として続き、地域活力を削ぐ力が今後も増大し続けることを覚悟しなければならない。

そこで、人口減少トレンドの極力の緩和に加えて、それでもなお続く人口減少下において地域活力を維持する対策を同時に進める必要がある。地域活力の減退を人口減少の単なる量的緩和だけではとてもカバーできないとすると、地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換による地域活力の維持を同時に追い求めるほかはない。

しかも、私たちが今後投入できる資源を考えると、量的緩和策を通じて質的転換を同時に図るよう戦略を立てる必要がある。

### 4 人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持（ローカル&グローバルの推進）

若者が地方を去り大都市へと流れる背景に、「社会的・経済的・文化的に豊かな大都市と貧しい地方」という強いイメージがあることが指摘されている。のみならず、「地方は貧しく、つまらない」というそのイメージは、現に地方に住んでいる人々をもとらえ、自らのまちに対する誇りの空洞化と活力の低下をもたらしてきたことも指摘されている。豊岡についても同様のことが言える。

換言すると、大都市に暮らす価値との比較において、豊岡に暮らす価値が選ばれていないことを意味する。したがって、大都市に暮らす価値に対抗しうる突き抜けた「豊岡に暮らす価値」を創りあげていくことが不可欠である。

幸い、近年、人と人、人と自然など「つながり」の希薄な大都市の暮らしに「空虚さ」を感じ、「つながり」を実感できる地方の暮らしに「豊かさ」を見て取る若い人たちが増えていることも報告されている。

しかも地方には、農林水産業や伝統産業など地方でこそできる仕事に加え、ICTの浸透によって地方でもできる仕事が増えつつあり、仕事も含めた、大都市とは別の豊かさを実感できる、成熟したライフスタイルの展開可能性が広がっている。

豊岡でも全く同様のことが言える。

グローバル化の進展も大きな可能性をもたらしている。

グローバル化の特徴の一つは、世界に同じ基準を適用して、世界を同じ商品、同じ店舗、同じ景色で満たしていくことにある。グローバル化の進展によって、急速に世界が同じ顔になりつつある中で、逆に、ローカルであること、地域性・固有性が輝くチャンスを持ち始めている。ICTの発達によって、地方も直接に世界の人々と結ばれることが可能になった今、地方における「豊かな暮らし」と「やりがいのある仕事」の可能性が出てきている。

豊岡でも、コウノトリの野生復帰が世界的評価を得て、コウノトリ育むお米の販売国数は増加し、伝統的街並みの城崎温泉を中心に豊岡全体で外国人宿泊客数が急増するなど、世界とのつながりが顕著になっている。また、城崎国際アートセンターには世界各国から優れたアーティストが訪れ、芸術文化の分野でも豊岡は世界と直接に結ばれ、人々を惹きつけ始めている。ローカル&グローバルの視点は、豊岡の有力な活性化戦略となっている。

こうしたチャンスを活かし、「豊岡には大都市とは別の価値観に基づく豊かな暮らしとやりがいのある仕事がある」ことを自覚的にとらえて豊岡で暮らし、働く若者の増加を図ることができれば、人口減少の緩和につながることはもちろん、地域社会・地域経済・地域文化のあり様と豊岡の人々の自己イメージを変え、新たな地域活力の創造へとつながっていく可能性がある。

なお、都市での経験から得られたノウハウ、センス、ネットワークを持つ多様な人々の移住や関与は、その年齢を問わず、豊岡の「素材」を磨いて、国内外への通用力を高める可能性を有している。それは豊岡の魅力がさらに高まり、若者を惹きつける力ともなりうることから、戦略の策定・推進にあたって十分留意する必要がある。

## 5 第2期豊岡市地方創生総合戦略の新たな視点

地方創生総合戦略は、2015年度の策定以来、見直しを行いながら推進してきたが、これまでの戦略の効果や明確となった課題を捉え、さらなる挑戦を進めていく。

### (1) 多様性を受け入れるまちづくり

#### ア 女性に選ばれるまち（ジェンダーギャップの解消）

若い女性の減少は、更なる少子化をもたらし、まちの存続自体に大きな影響を及ぼす。近年の研究では、出生率の増減と子どもの数の増減は、ほとんど関係はなく、女性の社会増減と子どもの数の増減には、かなり強い相関関係があるとも言われている。豊岡において、若い女性の回復率は、男性に比べ低くなっている（図3-3）。

なぜ豊岡が若い女性たちに選ばれていないのか。そこには、豊岡が男性中心の社会であることに原因があると考えられる。ジェンダーギャップの解消は喫緊の課題であり、いきいきと暮らす女性を増やす取組みを進めるとともに、さらに多くの若い女性を呼び込む施策を展開していかなければならない。

#### イ 外国人市民との共生推進

近年増加傾向にある外国人市民を人口減少社会におけるコミュニティの一員として受け入れ、共生する施策を実施していく。

## (2) 深さをもった演劇のまちづくり

演劇のまちづくりは、豊岡に暮らす突き抜けた価値を創りあげるために必要なものである。これまでの取組みにより、城崎国際アートセンターは、世界中から人々を集め、芸術文化観光専門職大学を誘致した。演劇は、まちの魅力を高め、人々をひきつけるとともに、教育・療育分野など様々な場面で新たな可能性が広がっている。さらに、演劇が浸透する深さをもった演劇のまちづくりを進めていく。

## (3) 芸術文化観光専門職大学との連携

2021年4月に開学した芸術文化観光専門職大学は、文化・観光分野において、優れた教師陣と強い目的意識をもった学生が学ぶ拠点となり、それらの学生や大学の活動によって、まちの魅力がさらに高まることが期待される。地域における専門職大学の可能性を最大限に活かすため、専門職大学との連携を進めていく。同大学と連携した取組みの一つとして、児童・生徒のコミュニケーション教育を進め、多様な価値観と自己決定力を身につけた次世代を育成する。

併せて、専門職大学で学んだ学生が、引き続き豊岡で働き、定住するよう、地域と一体となった取組みを進めていく。

## 6 第2期豊岡市地方創生総合戦略体系図

以上のことを踏まえ、人口減少のスピードを極力和らげるとともに、その対策を通じて、なお進む人口減少下にあっても地域活力を維持できるよう、第2期「豊岡市地方創生総合戦略」を策定し、実行することとする。

そこに示す豊岡市における地方創生のシナリオは、次のとおりである。

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市—Local & Global City—」＝「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
- (4) 特に、若い女性を増やす対策を進める。
- (5) 以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇えらせ、地域活力の維持を図る。

戦略の策定・実行にあたっては、本市が戦略的政策評価で用いているロジック・モデルの手法（目指す姿を明確にしたうえで、目的達成に強い因果関係を持つ手段を選択して体系化し（以下「戦略体系図」）、体系そのものをPDCAサイクルで検証する手法）を用いる。

## 【戦略体系図】

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
主要手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている
主要手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
02-04	市民が多様な人々を受け入れている
主要手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
主要手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
主要手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
主要手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている
06-01	若者が集い、交流する場が増えている
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している

- ※「上位目的」：この戦略において長期的に実現したい状態
- 「戦略目的」：この戦略において5年程度で達成したい状態
- 「主要手段」：戦略目的を実現するための主要な手段（2桁）
- 4桁番号の手段は、主要手段を実現するための具体的な手段

#### ※戦略策定・遂行にあたっての留意事項

- ① ジェンダーギャップの解消推進、移住定住促進、多様性推進、結婚支援等の観点から、子育て支援の総合拠点と子どもから高齢者まで「多様な人々が集い・交わる場」の創出を行う。
- ② 地域社会、地域経済、地域文化のあり様の質的転換を図る手段の一つとして、スマートコミュニティを推進していく。  
スマートコミュニティは、ICT、IoT、データ活用等の適切な技術を最大限活用し、地域の特性に応じて、モビリティ、地域産業、エネルギー、健康・医療、人材育成など様々な課題を解決し、持続的に発展する地域を作ろうとするものである。  
これにより、生活の心地よさを高めつつ、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティの構築を目指す。
- ③ 全国から多様な人材を地域おこし協力隊として委嘱し、新たな視点や発想により、地域の活性化や課題解決を図るとともに、隊員期間終了後の定着による移住者増加を目指す。あわせて、隊員自身の人とのつながりから、関係人口を創出・拡大する取組みを行う。

## 7 戦略の期間

この戦略の期間は、2020年度から2024年度までの5年とする。

## 8 戦略の進め方

- (1) 様々な統計やアンケート結果等の分析を踏まえながら、戦略の遂行、見直しを行う。
- (2) 人口減少対策は、強い意志の下に、長期にわたって継続的かつ総合的に実施するため、関係部署と連携しながら、事業を進める。
- (3) 戦略目的を達成するためには、戦略及び戦略に盛り込まれる個々の事業の策定及び実施にあたって、関係する市民・企業・団体・行政の協働が不可欠であることから、協働の推進体制を整える。

## 9 第2期豊岡市地方創生総合戦略に基づく事業・指標



上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
	【指標】 人口の社会減の緩和（転入－転出）

主要手段一具体的手段		事業（該当する事業が重複事業は〔重複〕で記載）	重要業績評価指標（KPI）
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	情報戦略推進（豊岡ファンミーティング、庁内情報発信強化業務、広告宣伝）、Uターン推進（飛んでるローカル豊岡運営業務）、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、企業版ふるさと納税の獲得推進、豊岡スマートコミュニティ推進機構〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、観光事業（国内誘客推進、観光施策評価データ収集等）〔重複〕	豊岡市公式ウェブサイト閲覧（セッション）数
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数
01-02	豊岡を築立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン推進（ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡の運営、しごと相談会、就活応援ブック）、Uターン推進（高校生の総合学習等支援）	新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	Uターン推進（民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等）、定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援）、地域おこし協力隊の推進〔重複〕	移住組数（窓口相談等の利用者）
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている		豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	I T 企業誘致推進、スマート農業推進	I T 企業誘致件数
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等）、政策アドバイザー設置、豊岡スマートコミュニティ推進機構、新規就農総合支援、豊岡農業スクール、地域おこし協力隊の推進	創業件数、新規就農者数（青年等就農計画認定者）
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	豊岡ブランド PR 推進、スマート農業推進〔重複〕、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕	靴製造品出荷額、靴産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「靴縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇用者（正社員）数
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	多文化共生推進、Uターン推進（ワンストップ窓口・移住イベント出展・民間移住相談窓口業務等）〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、専門職大学連携推進（移住等促進事業）〔重複〕	アーティスト・クリエイター移住者数
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている		女性従業員の2/3以上が「働きやすくて働きがいがある」と評価している事業所数
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター	ファミリーサポートセンター会員数
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕	—
03-03	ありたい姿に向かっているいきいきと働ける機会が増えている	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進	子育て中の就労促進事業による就職内定者数
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている		移輸出額
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	城崎温泉街交通環境改善、観光事業（国内誘客推進、観光施策評価データ収集等）、観光まちづくり推進（専門人材配置）、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、文化観光推進	観光消費額（インバウンド宿泊者）、豊岡演劇祭の市外からの来訪者数
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕	コウノトリ育むお米輸出総量
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン 2023、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン 2023 参加）、城崎国際アートセンター運営・事業（アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2023 参加等）、アーティスト・イン・レジデンス、専門職大学連携（移住等促進事業）〔重複〕、演劇のまちづくり推進、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学連携推進（地域連携事業）〔重複〕	アーティスト・イン・レジデンス滞在者数（累計）、アーティスト・クリエイター移住者数
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	専門職大学連携推進（地域連携事業）、Uターン推進（高校生の総合学習等支援）〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、英語教育推進〔重複〕	イングリッシュサマーカーン参加生徒数
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えること がある児童・生徒の割合
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進、おとろっしゃ！とよおかのものづくり、Uターン推進（高校生の総合学習等支援）〔重複〕	ふるさとへのひとやものに関わる活動を通して、ふるさとや自分のことで、何か新たに発見したり、考えたりしたこと があった児童・生徒の割合
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	Uターン推進（高校生の総合学習等支援）〔重複〕、ふるさと教育推進〔重複〕	自分自身が関わって豊岡を良くしていると思う高校生の割合
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進	話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたり することができていると思う児童・生徒の割合、中学校卒業時の英検3級以上相当の英語力を有する生徒の割合
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている		婚姻数
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	若者独身者交流	婚活イベントによる成婚数
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	ボランティア仲人養成（WEDDING プロデュース大作戦）、出会い機会創出（はーとピー）、若者独身者交流〔重複〕	出会い機会創出事業による成婚数
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	ボランティア仲人養成（縁むすびさん）、結婚相談所機能拡充、結婚・女性活躍推進調査、出会い機会創出（はーとピー）〔重複〕	ボランティア仲人による成婚数、結婚相談所による成婚数



## 1 基本目標、主要手段・具体的手段、重要業績評価指標及び事業

## (1) 基本目標

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
	指標	基準値	目標値
人口の社会減の緩和（転入－転出） （※兵庫県市町別毎月人口推計調査1～12月）		△442人（2019年） （転入1,893人 －転出2,335人）	△388人 （2024年度）

## (2) 主要手段・具体的手段、重要業績評価指標及び事業

主要手段 01 （2桁）	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	豊岡市公式ウェブサイト閲覧（セッション）数	831,716件 （2018年7月25日～ 2019年3月31日）	1,340,000件 （2024年度）

主要手段を実現するための具体的手段 01-01 （4桁）	豊岡の良さが内外に伝わっている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数	118,442件 （2018年度）	138,000件 （2024年度）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
01-01-01	情報戦略推進（豊岡ファンミーティング、庁内情報発信強化業務、広告宣伝）	周囲の人にも本市の良さを伝えてくれる“豊岡ファン”との関係を構築・強化し、旅の目的地・滞在先としての認知向上につなげる。 庁内の横断的な連携を行い、市全体としての情報発信を強化し、本市の取組みに共感し、参画していただく企業・個人を増やす。	観光政策課
01-01-02	UIターン推進（飛んでるローカル豊岡運営業務）	移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」で市民ライターが豊岡のリアルな暮らし（地域事情・住まい・仕事等）を記事やSNSで発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。	地域づくり課
01-01-03	企業版ふるさと納税の獲得推進	本市の地方創生をさらに推進するための財源を確保するとともに、本市の取組みに共感する企業を増やすため、企業版ふるさと納税の獲得に向けた取組みを強化する。	経営企画課

01-01-04	豊岡スマートコミュニティ推進〔重複〕	02-02-03参照	DX・行財政改革推進課
01-01-05	地域おこし協力隊の推進〔重複〕	02-02-06参照	地域づくり課
01-01-06	観光事業（国内誘客推進、観光施策評価データ収集等）〔重複〕	04-01-02参照	観光政策課

主要手段を実現するための具体的手段 01-02 (4桁)	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
---------------------------------	-----------------------	--	--

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）	未測定	865人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
01-02-01	UIターン推進（ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡の運営、しごと相談会、就活応援ブック）	<p>合同企業説明会等の開催や豊岡で働く魅力や暮らしの情報発信など、オンラインを含め、機会を捉えてUIターン希望者にマッチした情報を届ける。また、高校卒業後も途切れることなく豊岡に興味を持ち続けてもらえるような情報発信を行い、Uターンを促進する。</p> <p>就活イベント（市内企業30社の参加を想定）を実施するとともに、若者の多様な働き方や、市内在住者のおすすめスポットなどを紹介した「就活応援ブック」により豊岡の魅力を紹介する。</p>	地域づくり課
01-02-02	UIターン推進（高校生の総合学習等支援）	学校内での地域探究や仕事や企業の探究活動、学校外での高校生キャリア塾等の活動に対して支援を行う。	地域づくり課

主要手段を実現するための具体的手段 01-03 (4桁)	移住・定住を検討する人に情報が提供されている		
---------------------------------	------------------------	--	--

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
移住組数（窓口相談等利用者）	38組 (2018年度)	224組増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
01-03-01	UIターン推進（民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務、婚活×移住イベント等）	ワンストップ窓口を設置し移住希望者への「地域・住まい・仕事等」の情報提供やマッチングを行う。 都市圏（東京・大阪）の移住イベ	地域づくり課

		<p>ントに出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、来訪や移住に導く。</p> <p>移住相談と現地案内等の一部の業務を民間へ委託し、夜間及び休日での対応を行う。</p> <p>移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐWEBサービス「SMOUT（スマウト）」を利用し、移住者及び関係人口を増加させる。</p> <p>専用のアプリを用いた空き家調査を、エリアを限定して行い、調査データをデジタル化し、空き家情報の発信等に活用する。</p> <p>地方で暮らしたい男性と、豊岡に住み続けたい女性のマッチングを目的とした婚活事業を実施し、共通の趣味を通じて出会う場を提供することで将来的な移住にもつなげる。</p>	
01-03-02	定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援）	<p>移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を向上させ、移住を促進する。</p> <p>市内の空き家を対象として、芸術文化観光専門職大学生等の学生向けシェアハウスを整備する事業者に経費の一部を補助する。</p> <p>東京圏からの移住者を支援する。</p>	地域づくり課
01-03-03	地域おこし協力隊の推進〔重複〕	02-02-06参照	地域づくり課

<b>主要手段 02</b> (2桁)	<b>多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている</b>		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	
豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	41.1% (2018年度)	60% (2024年度)	

<b>主要手段を実現するための具体的手段 02-01</b> (4桁)	<b>働きがいがあり、働きやすい場が増えている</b>		
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	
I T企業誘致件数	0件 (2019年度)	5件増 (5年間)	

具体的手段を実現するための事業	事業概要	担当課
02-01-01	I T企業誘致推進 オンラインによるマッチングイベントを活用し、IT企業を誘致する活動を展開する。	環境経済課

		ターゲット企業を絞った効果的な誘致活動を行うため、IT企業誘致支援業務を委託する。	
02-01-02	スマート農業推進	コウノトリ育む農法の水管理省力化を、低コスト機器で実証するとともに、水田センサーによる水位及び水温のデータを取得・活用して、収量及び品質向上を図る。	農林水産課

<b>主要手段を実現するための具体的手段 02-02 (4桁)</b>	<b>新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている</b>		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	創業件数	19件 (2018年度)	110件増 (5年間)
	新規就農者数 (青年等就農計画の認定者)	2人 (2019年度)	17人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-02-01	内発型産業育成 (ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)	<p>市内創業希望者や市内企業を対象にしたビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。</p> <p>創業・事業承継に取組む者のスタートアップに要する経費を支援する。</p> <p>具体的な目標 (営業利益や付加価値額など) を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。</p> <p>豊岡市継業バンクにより事業承継を推進する。</p> <p>地域活性学会 (豊岡大会) の開催及び運営支援を行う。</p>	環境経済課
02-02-02	政策アドバイザー設置	豊岡市の政策・施策を推進するため、ソーシャルビジネス、まちづくりにおけるデザイン等について、専門的立場から助言等を行う政策アドバイザーを設置する。	観光政策課
02-02-03	豊岡スマートコミュニティ推進	<p>「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」の実現を目指す。</p> <p>地域の交通安全、持続可能な地域モビリティの構築、データ連携基盤等を活用した新たな市民サービスの導入を検討する。</p>	DX・行財政改革推進課
02-02-04	新規就農総合支援	市内で農業経営を行う認定新規就農者 (18歳以上45歳未満) を対象に、	農林水産課

		経営開始直後の資金や、農業設備の導入経費を支援する。 市外転入者（豊岡農業スクール研修生を含む）には家賃補助を行う。市内で就農する際の経費負担を軽減することで、若者の移住及び農業への定着を推進する。	
02-02-05	豊岡農業スクール	市内での就農を目指す者を対象に、希望する農業分野に応じて、市内の先進的な農業経営者のもとで生産や経営の技能を習得する研修制度を実施する。 水稲や大豆等、広大な農地を使用する土地利用型経営体（集落営農組織等）の後継者不足も顕著であるため、研修先並びに卒業後の就農先としてのマッチングを図る。	農林水産課
02-02-06	地域おこし協力隊の推進	総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、新たな視点や発想により、地域の活性化や課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。	地域づくり課

<b>主要手段を実現するための具体的手段 02-03（4桁）</b>	<b>豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている</b>
------------------------------------	-----------------------------

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
靴製造品出荷額	104億円 (2019年調査)	116億円 (2024年調査)
靴産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「靴縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇 用者（正社員）数	122人 (2020年度)	32人増 (4年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-03-01	豊岡靴ブランドPR推進	「豊岡靴」ブランドの価値を向上させる取組みを支援し、基盤産業である靴産業の振興を図る。	環境経済課
02-03-02	スマート農業推進〔重複〕	02-01-02参照	農林水産課
02-03-03	コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕	04-02-01参照	農林水産課

主要手段を実現するための具体的手段 02-04 （4 桁）	市民が多様な人々を受け入れている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	アーティスト・クリエイター移住者数	5人 (2019年度)	35人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-04-01	多文化共生推進	子育て支援総合拠点で外国人市民相談会・交流事業及び研修会等を開催する。 市役所窓口等にICTを活用した映像通訳、翻訳アプリを設置し、多言語による情報提供や相談対応を図る。 新たに多言語相談員を配置し、転入者等に豊岡で生活するために必要な情報を提供するとともに、行政窓口での手続きのサポートや相談受付等を行う。 日本語教室、受講者の生活相談等を実施する団体に補助を行う。	地域づくり課
02-04-02	UIターン推進（ワンストップ窓口・移住イベント出展・民間移住相談窓口業務等）〔重複〕	01-03-01参照	地域づくり課
02-04-03	地域おこし協力隊の推進〔重複〕	02-02-06参照	地域づくり課
02-04-04	専門職大学連携推進（移住等促進事業）〔重複〕	04-03-06参照	観光政策課

主要手段 03 (2桁)	いきいきと暮らす女性が増えている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数		0事業所 (2018年度)	20事業所増 (5年間)

主要手段を実現するための具体的手段 03-01 (4桁)	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
ファミリーサポートセンター会員数		178人 (2018年度)	280人 (2024年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
03-01-01	ジェンダーギャップ解消推進	「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進する。 市民向けの意識啓発・理解促進ツールを制作する。 ジェンダー平等をテーマにした豊岡市オリジナル絵本を制作し、市内の保育園、小学校等に配布し、保育・教育に活用する。	ジェンダーギャップ対策室
03-01-02	子育て広場管理	「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、5か所の子育て広場の除草等の維持管理を行う。 子どもが安心して遊べ、子育て中の世代とまちの人がいっしょに憩う広場として利用促進を図る。	健康増進課
03-01-03	ファミリーサポートセンター	会員同士の相互援助が円滑に図れるよう、専任アドバイザーを配置して、会員のマッチング、会員研修、交流事業等を行う。	こども未来課

主要手段を実現するための具体的手段 03-02 (4桁)	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	—	—	—

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
03-02-01	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕	03-01-01参照	ジェンダーギャップ対策室
03-02-02	子育て広場管理〔重複〕	03-01-02参照	健康増進課

主要手段を実現するための具体的手段 03-03 (4桁)	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	子育て中の就労促進事業による就職内定者数	22人 (2018年度)	150人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
03-03-01	ワークイノベーション推進	女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指し、経営者や従業員等の意識改革、行動改革を促す。	ジェンダーギャップ対策室
03-03-02	子育て中の女性の就労促進	働きたい女性を対象にデジタルマーケティング人材を育成するとともに、出口戦略（就職・起業支援）にも併せて取り組み、「デジタルスキル」を装着し、生き生きと働く女性のロールモデルを示す。 子育て支援総合拠点において、子育て中の働きたい女性の就労支援に取り組む。	ジェンダーギャップ対策室

主要手段 04 (2桁)	豊岡で人々が世界と出会っている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
移輸出額		231,268 百万円 (2017 年度)	233,473 百万円 (2024 年度)

主要手段を実現 するための具体 的手段 04-01 (4桁)	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
観光消費額 (インバウンド宿泊者)		1,096 百万円 (2017 年度)	2,502 百万円 (2024 年度)
豊岡演劇祭の市外からの来訪者数		600 人 (2019 年度)	4,300 人 (2024 年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-01-01	城崎温泉街交通環境改善	<p>城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができるよう、城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動を行う。</p> <p>桃島バイパスを活用した交通迂回策の検討協議を行う。</p>	建設課
04-01-02	観光事業 (国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	<p>国内外のテレビ、雑誌等の編集者などを招聘し、市の取組みや観光素材の取材を通して、メディア等への露出や旅行商品造成につなげる。</p> <p>観光に関する様々な客観的データを活用し、観光による地域への経済波及効果を高める。</p> <p>無料で利用できる公衆無線LANサービスに必要な通信設備、関連設備の運用等を行い、来訪者の満足度向上とより多くの“豊岡ファン”を創出する。</p> <p>大交流ビジョンの実現に向け、ウィズコロナ社会の新しい観光の形を見据えた「国内誘客促進強化のための情報発信戦略」に基づき、誘客促進を図る。</p>	観光政策課
04-01-03	観光まちづくり推進 (専門人材配置)	<p>民間企業で培った専門的な知識や経験、人脈を持った人材やマーケティングの専門家を配置し、「大交流ビジョン」の推進を図る。</p> <p>「大交流ビジョン」の推進体制の中心に位置づけた一般社団法人豊岡観光イノベーション (以下、TTI) のプロパー人材の配置を支援する。</p>	観光政策課

		さらに、TTIの体制を強化するため、市からの派遣職員を増員する。	
04-01-04	インバウンド誘客推進	海外現地レップ（情報発信等代理店）、本市外国語版ホームページ等による情報発信を中心とした事業を実施する。 対象市場において、豊岡市の認知度を向上するとともに、海外の人々に対して豊岡の魅力を的確に伝え、本市への誘客につなげる。	観光政策課
04-01-05	豊岡演劇祭協同開催	豊岡演劇祭2023を市内文化施設等で上演し、豊岡市を国内外にアピールすることで「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。 演劇祭をまちづくりの課題解決に向けたトライアルの場と位置づけ、演劇祭を通じた持続可能なまちづくりを図る。フリンジ型の演劇祭として5年でアジアNo.1、10年で世界有数の演劇祭を目指す。	観光政策課
04-01-06	文化観光推進	国内でも稀に見るほど、多くの舞堂（歌舞伎舞台）が現存する但東地域において、舞台芸能を地域とともに再考し、新たな文化資源へと昇華させるため、地域子どもたちとワークショップを通じた神楽作品の創作と公演を行う。 「自然を見せる屋外ミュージアム」をコンセプトに新しくなった玄武洞公園で、幻想的なライトアップなどのイベントを定期的に行うことにより国の特別天然記念物玄武洞の魅力を発信し集客につなげる。	観光政策課

主要手段を実現するための具体的手段 04-02 (4 桁)	メイドイン豊岡が世界に広がっている
-------------------------------	-------------------

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
コウノトリ育むお米輸出総量	17.2 トン (2018 年度)	60 トン (2024 年度)

具体的手段を実現するための事業	事業概要	担当課
04-02-01 コウノトリ育むお米ブランド化推進	海外の消費者にコウノトリ育む農法で栽培されたお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、海外向け情報発信を展開する。	農林水産課

04-02-02	アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕	04-03-05参照	文化・スポーツ振興課
----------	---------------------	------------	------------

主要手段を実現するための具体的手段 04-03（4桁）	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
-----------------------------	----------------------------

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
アーティスト・イン・レジデンス滞在者数 *累計	1,066人 (2018年度)	1,970人 (2024年度)
アーティスト・クリエイター移住者数	5人 (2019年度)	35人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-03-01	出石永楽館歌舞伎開催	豊岡のイメージアップと交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として、「第13回永楽館歌舞伎」を開催する。	出石地域振興課
04-03-02	豊岡アートシーズン2023	文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2023（豊岡アートシーズン2023）」として広報する。 市内の小学2年生全員を対象に子ども参加型演劇『サンタクロース会議』公演、6年生全員を対象に「出石永楽館狂言鑑賞教室」公演及び主に若年層・子育て世代を対象に、「豊岡アート縁日」を開催する。	文化・スポーツ振興課
04-03-03	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2023参加）	第9回おんぷの祭典（子どもたちのためのコンサート、学校訪問コンサート、街角コンサート、稽古堂イブニングコンサート、グランドフェスティバル（キッズコンサート・ファイナルコンサート））を開催する。	文化・スポーツ振興課
04-03-04	城崎国際アートセンター運営・事業（アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2023参加等）	芸術文化の国際的戦略拠点として運営するとともに、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の強化を図る。	文化・スポーツ振興課
04-03-05	アーティスト・イン・レジデンス	公募により選考された国内外からのアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。 市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。	文化・スポーツ振興課

04-03-06	専門職大学連携推進（移住等促進事業）	市内案内ツアーを実施し、芸術文化観光専門職大学の学生に卒業後も豊岡に住み続けてもらうためのきっかけづくりを行う。 アーティスト・クリエイターのオンラインによる移住説明会・相談会を開催する。	観光政策課
04-03-07	演劇のまちづくり推進	「深さをもった演劇のまちづくり」を推進していくため、まちづくりコーディネーターを配置する。	観光政策課
04-03-08	地域おこし協力隊の推進〔重複〕	02-02-06参照	地域づくり課
04-03-09	多文化共生推進〔重複〕	02-04-01参照	地域づくり課
04-03-10	豊岡演劇祭協同開催〔重複〕	04-01-05参照	観光政策課
04-03-11	専門職大学連携推進（地域連携事業）〔重複〕	04-04-01参照	観光政策課

主要手段を実現するための具体的手段 04-04（4桁）	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数	45人 (2019年度)	270人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-04-01	専門職大学連携推進（地域連携事業）	芸術文化観光専門職大学内に設置されている「地域リサーチ&イノベーションセンター」と連携・協働し、地域課題を解決するための取組みを推進する。	観光政策課
04-04-02	UIターン推進（高校生の総合学習等支援）〔重複〕	01-02-02参照	地域づくり課
04-04-03	豊岡演劇祭協同開催〔重複〕	04-01-05参照	観光政策課
04-04-04	英語教育推進〔重複〕	05-03-02参照	学校教育課

<b>主要手段 05</b> <b>（2桁）</b>	<b>子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている</b>		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合		小 63.9% 中 39.5% (2019年度)	小 68.9% 中 44.5% (2024年度)

<b>主要手段を実現するための具体的手段 05-01</b> <b>（4桁）</b>	<b>子どもたちが豊岡のことをよく知っている</b>		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
ふるさとのひとやものに関わる活動を通して、ふるさとや自分のことで、何か新たに発見したり、考えたりしたことがあった児童・生徒の割合		小 84.6% 中 83.0% (2020年度)	小 88.7% 中 86.0% (2024年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
05-01-01	ふるさと教育推進	「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置付け、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。	学校教育課
05-01-02	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	市内のものづくり企業の認知度向上を目的に、豊岡市工業会が開催する企業展示等ものづくり体験教室の支援を行う。	環境経済課 (豊岡市工業会)
05-01-03	UIターン推進（高校生の総合学習等支援）〔重複〕	01-02-02参照	地域づくり課

<b>主要手段を実現するための具体的手段 05-02</b> <b>（4桁）</b>	<b>子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている</b>		
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値
自分自身が関わって豊岡を良くしていこうと思う高校生の割合		未測定	70% (2024年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
05-02-01	UIターン推進（高校生の総合学習等支援）〔重複〕	01-02-02参照	地域づくり課
05-02-02	ふるさと教育推進〔重複〕	05-01-01参照	学校教育課

<b>主要手段を実現するための具体的手段 05-03（4桁）</b>	<b>子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる</b>		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合	小 83.6% 中 78.8% (2019年度)	小 88.6% 中 83.8% (2024年度)
	中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	55.3% (2019年度)	70% (2024年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
05-03-01	コミュニケーション教育推進	すべての小学校6年生と中学校1年生が演劇的手法を用いて、コミュニケーション能力の向上を図る。	学校教育課
05-03-02	英語教育推進	小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる環境を整え、小学校から中学校にわたる9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることのできる力を高める。 教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学校3年生対象）等を実施する。	学校教育課
05-03-03	非認知能力向上対策	市内の小学校1年生すべてと2年生のモデル校（6学級）を対象に、平田オリザ氏監修、わたなべなおこ氏作成のプログラムにより、演劇ワークショップを実施するとともに、効果測定を行う。	学校教育課
05-03-04	英語遊び保育推進	就学前（4、5歳児）の子どもたちを対象に、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う英語遊び指導員を巡回派遣する。	幼児育成課

主要手段 06 (2桁)	結婚したいと思う人が結婚できている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
婚姻数		282組 (2018年)	287組 (2024年)

主要手段を実現するための具体的手段 06-01 (4桁)	若者が集い、交流する場が増えている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
婚活イベントによる成婚数		0組 (2018年度)	5組増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
06-01-01	若者独身者交流	「婚活事業」は敷居が高いと感じて参加しない層をターゲットに交流の場を設ける。	地域づくり課

主要手段を実現するための具体的手段 06-02 (4桁)	多種多様な出会いの機会が充実している		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
出会い機会創出事業による成婚数		8組 (2018年度)	50組増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
06-02-01	ボランティア仲人養成 (WEDDINGプロデュース大作戦)	ファッションや美容のプロの手により素敵に変身した姿での食事会の機会を創出し、成婚数を増加させる。	地域づくり課
06-02-02	出会い機会創出 (はーとピー)	婚活応援プロジェクト「はーとピー」(婚活イベント)を実施し、結婚を支援する。 専任の結婚支援員を置き、希望者には細やかなアフターフォローを行う。	地域づくり課
06-02-03	若者独身者交流 [重複]	06-01-01参照	地域づくり課

主要手段を実現するための具体的手段 06-03 （4 桁）	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	ボランティア仲人による成婚数	1組 (2018年度)	23組増 (5年間)
	結婚相談所による成婚数	5組 (2018年度)	42組増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
06-03-01	ボランティア仲人養成（縁結びさん）	ボランティア仲人「縁むすびさん」を養成し、活動を支援する。 「縁むすびさん」が結婚相談所や婚活イベント等に行かない独身者層のご縁を取り持ち、結婚を支援する。	地域づくり課
06-03-02	結婚相談所機能拡充	社会福祉協議会の結婚相談所ボランティア相談員の成婚報奨金を補助する。 担当職員、相談員の資質向上のため、研修費を補助する。	地域づくり課
06-03-03	結婚・女性活躍推進調査	結婚の支援、女性の活躍（子育て応援）を推進するため、研修、視察等を行い、より効果的な事業の推進を図る。	地域づくり課
06-03-04	出会い機会創出（はーとピー）〔重複〕	06-02-02 参照	地域づくり課

## 2020 年国勢調査結果の概要

第2期豊岡市地方創生総合戦略における政策目標人口は、長期間において達成する目標としていること、2015年国勢調査から人口減少トレンドそのものに大きな変化はないことなどから、2020年国勢調査結果が公表されたが、第2期豊岡市地方創生総合戦略の本文は変えずに本概要を掲載することとする。



# 1 人口

2020年10月1日現在の豊岡市の人口は77,489人で、5年前の前回調査から4,761人減少しました。

5年ごとの増減の推移をみると、終戦後の1947年に人口は大きく増加しましたが、その後、1960年から1970年にかけては高度経済成長による都市部への人口流出により減少が続きます。1975年、1980年は、第2次ベビーブームの影響もあり若干の増加に転じたものの、その後は一貫して人口減少が続いており、特に今回調査では5.8%減と、これまでで最も大きな減少率となりました（図1、表1）。

図1 人口及び人口増減率の推移－1920年～2020年

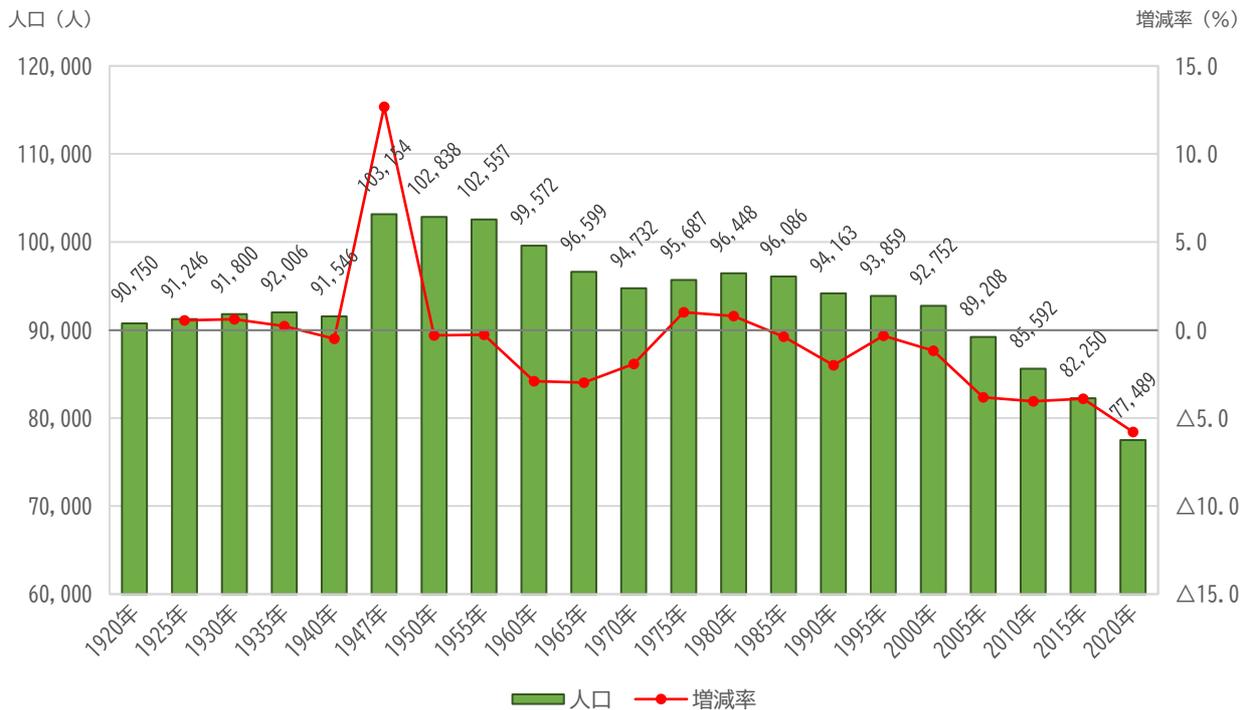


表1 男女別人口の推移－2000年～2020年

	人口 (人)			5年間の人口増減		性比 (女=100)
	総数	男	女	増減数 (人)	増減率 (%)	
2000年	92,752	44,637	48,115	-	-	92.8
2005年	89,208	42,695	46,513	△3,544	△3.8	91.8
2010年	85,592	40,791	44,801	△3,616	△4.1	91.0
2015年	82,250	39,494	42,756	△3,342	△3.9	92.4
2020年	77,489	37,303	40,186	△4,761	△5.8	92.8

## 2 年齢別人口

豊岡市の総人口を年齢3区分別にみると、15歳未満の年少人口は9,482人（年齢不詳を除いた総人口に占める割合12.3%）、15～64歳の生産年齢人口は41,006人（同53.3%）、65歳以上の老年人口は26,522人（同34.4%）となっています。

年齢不詳を除いた総人口に占める割合を2015年と比べると、年少人口は0.7ポイントの低下、生産年齢人口は2.0ポイントの低下となった一方、老年人口は2.7ポイント上昇しました（図2、表2）。

図2 年齢（3区分）別人口割合の推移－1980年～2020年

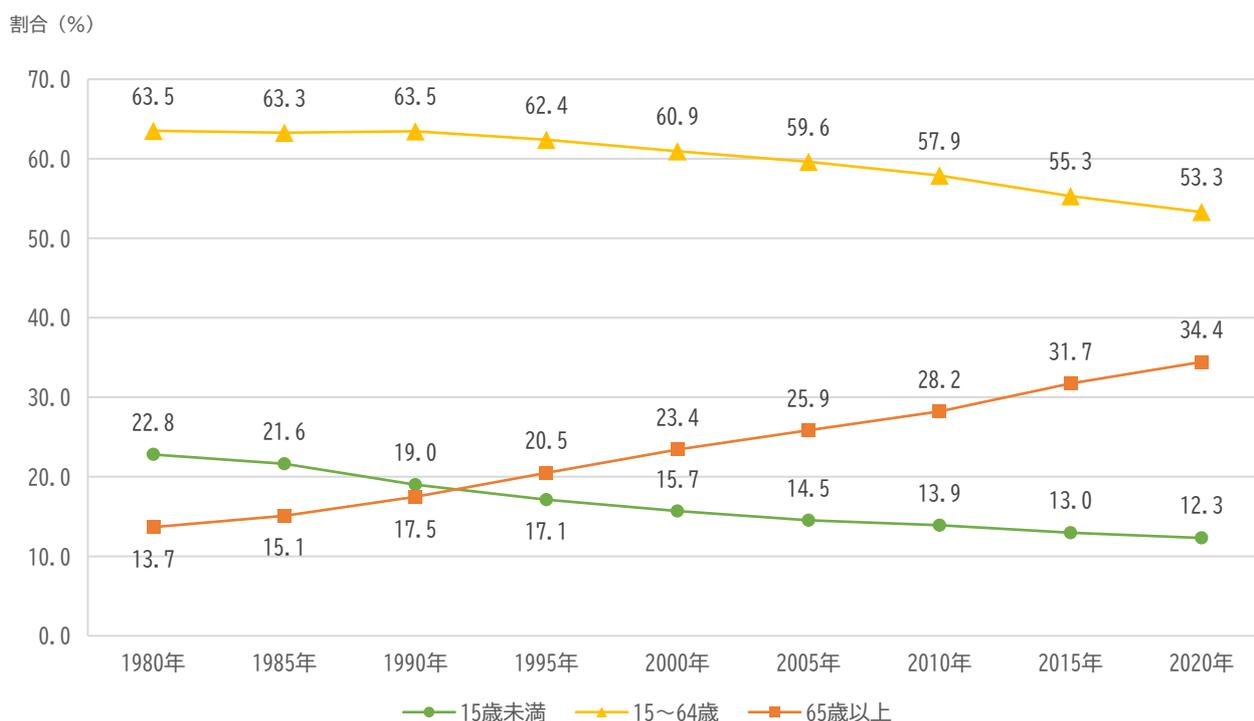


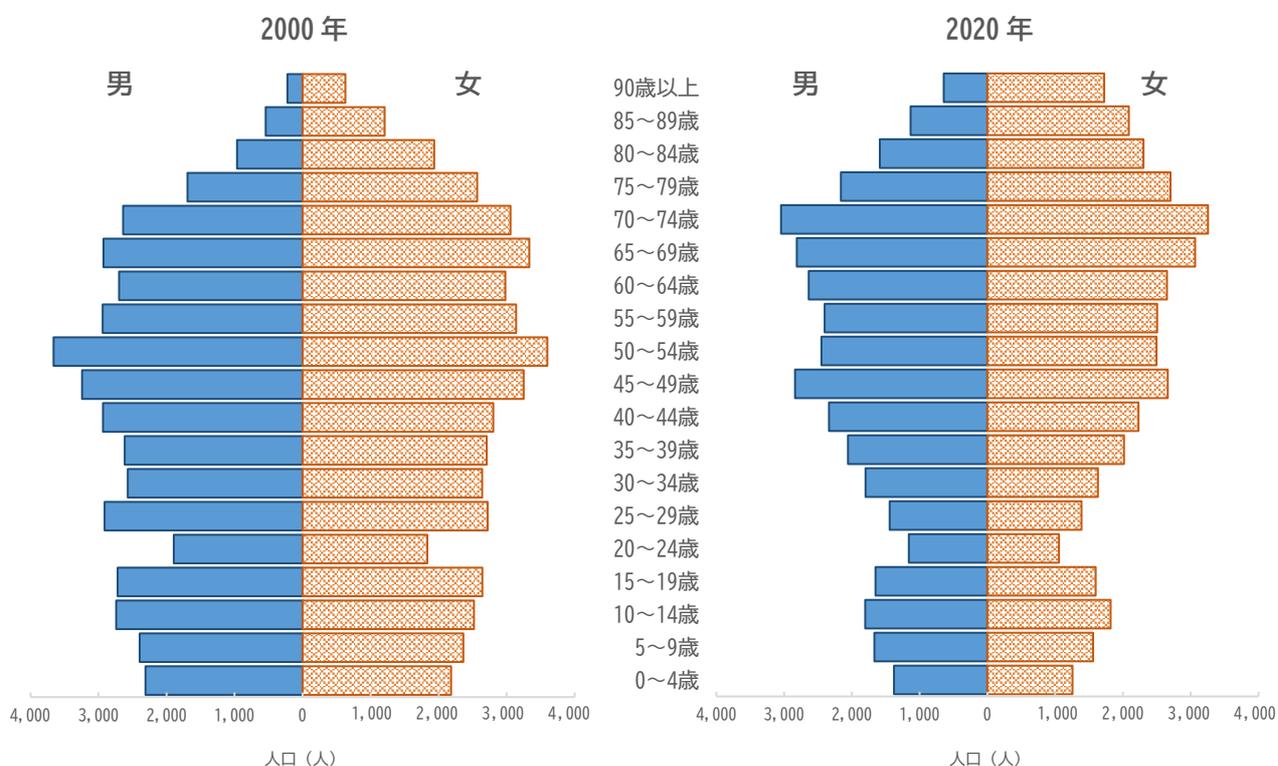
表2 年齢（5歳階級）別人口の推移－2000年～2020年

	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
総数	92,752	89,208	85,592	82,250	77,489
0～4歳	4,492	3,888	3,675	3,185	2,634
5～9歳	4,757	4,430	3,828	3,613	3,227
10～14歳	5,259	4,648	4,390	3,822	3,621
15～19歳	5,361	4,425	3,898	3,769	3,247
20～24歳	3,726	3,174	2,565	2,355	2,217
25～29歳	5,631	4,523	3,946	3,253	2,831
30～34歳	5,210	5,675	4,611	4,052	3,430
35～39歳	5,320	5,112	5,559	4,593	4,071
40～44歳	5,737	5,150	5,021	5,551	4,568
45～49歳	6,492	5,620	5,121	5,012	5,502
50～54歳	7,258	6,360	5,567	5,050	4,945
55～59歳	6,077	7,207	6,239	5,492	4,908
60～64歳	5,677	5,931	6,996	6,154	5,287
65～69歳	6,260	5,391	5,672	6,749	5,878
70～74歳	5,694	5,815	5,011	5,326	6,301
75～79歳	4,260	5,076	5,222	4,565	4,865
80～84歳	2,898	3,525	4,173	4,365	3,890
85～89歳	1,749	2,045	2,531	3,062	3,220
90～94歳	700	942	1,164	1,434	1,726
95～99歳	135	239	314	416	543
100歳以上	17	26	57	66	99
年齢不詳	42	6	32	366	479
(再掲)					
15歳未満	14,508	12,966	11,893	10,620	9,482
15～64歳	56,489	53,177	49,523	45,281	41,006
65歳以上	21,713	23,059	24,144	25,983	26,522
65～74歳	11,954	11,206	10,683	12,075	12,179
75歳以上	9,759	11,853	13,461	13,908	14,343
年齢別割合(%)					
15歳未満	15.7	14.5	13.9	13.0	12.3
15～64歳	60.9	59.6	57.9	55.3	53.3
65歳以上	23.4	25.9	28.2	31.7	34.4
65～74歳	12.9	12.6	12.5	14.7	15.8
75歳以上	10.5	13.3	15.7	17.0	18.6

※年齢別割合は年齢不詳を除いて算出

2020年の人口ピラミッドを20年前（2000年）のものと比較すると、全体的に張り出しが小さくなっており、人口減少が進んでいることがわかります。70代以上の人口は増加しているものの、それ以下ではすべての年齢階級で減少しており、特に20代以下の減少が顕著です（図3）。

図3 人口ピラミッド



### 3 配偶関係別人口

2020年の15歳以上人口67,528人（男性32,157人、女性35,371人）を配偶関係別にみると、男性は「未婚」が9,114人（15歳以上男性の28.4%）、「有配偶」が20,322人（同63.3%）、「死別」が1,304人（同4.0%）、離別が1,376人（同4.3%）となっています。

一方、女性は「未婚」が6,132人（15歳以上女性の17.4%）、「有配偶」が20,228人（同57.3%）、「死別」が6,711人（同19.0%）、離別が2,240人（同6.3%）となっています。

また、「有配偶」の割合が「未婚」を上回るのは、女性では30~34歳以上の年齢階級ですが、男性では35~39歳以上の年齢階級となっています（表3）。

表3 配偶関係別 15 歳以上人口

	男						女					
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳	総数	未婚	有配偶	死別	離別	不詳
	実 数 (人)											
総 数	32,157	9,114	20,322	1,304	1,376	41	35,371	6,132	20,228	6,711	2,240	60
15～19 歳	1,650	1,647	2	1	0	0	1,597	1,588	9	0	0	0
20～24 歳	1,160	1,072	84	0	3	1	1,057	941	108	0	8	0
25～29 歳	1,443	1,065	362	0	14	2	1,388	802	539	1	46	0
30～34 歳	1,798	909	850	0	37	2	1,632	501	1,045	0	85	1
35～39 歳	2,056	752	1,232	2	69	1	2,015	447	1,400	12	152	4
40～44 歳	2,337	698	1,509	6	121	3	2,231	370	1,621	13	223	4
45～49 歳	2,839	790	1,880	6	161	2	2,663	370	1,972	19	297	5
50～54 歳	2,450	623	1,648	21	151	7	2,495	322	1,839	61	271	2
55～59 歳	2,402	477	1,706	33	183	3	2,506	238	1,902	108	257	1
60～64 歳	2,637	413	1,991	44	189	0	2,650	147	2,074	209	219	1
65～69 歳	2,813	325	2,229	88	168	3	3,065	121	2,312	424	203	5
70～74 歳	3,045	216	2,500	175	144	10	3,256	102	2,232	689	227	6
75～79 歳	2,162	71	1,807	205	78	1	2,703	68	1,563	950	115	7
80～84 歳	1,587	36	1,303	211	36	1	2,303	43	977	1,211	66	6
85～89 歳	1,133	15	852	247	16	3	2,087	40	506	1,494	37	10
90～94 歳	533	5	325	198	4	1	1,193	24	115	1,027	21	6
95～99 歳	97	0	41	54	1	1	446	6	13	414	11	2
100 歳以上	15	0	1	13	1	0	84	2	1	79	2	0
	構 成 比 (%)											
総 数	100.0	28.4	63.3	4.0	4.3	-	100.0	17.4	57.3	19.0	6.3	-
15～19 歳	100.0	99.8	0.1	0.1	0.0	-	100.0	99.4	0.6	0.0	0.0	-
20～24 歳	100.0	92.5	7.2	0.0	0.3	-	100.0	89.0	10.2	0.0	0.8	-
25～29 歳	100.0	73.9	25.1	0.0	1.0	-	100.0	57.8	38.8	0.1	3.3	-
30～34 歳	100.0	50.6	47.3	0.0	2.1	-	100.0	30.7	64.1	0.0	5.2	-
35～39 歳	100.0	36.6	59.9	0.1	3.4	-	100.0	22.2	69.6	0.6	7.6	-
40～44 歳	100.0	29.9	64.6	0.3	5.2	-	100.0	16.6	72.8	0.6	10.0	-
45～49 歳	100.0	27.8	66.3	0.2	5.7	-	100.0	13.9	74.2	0.7	11.2	-
50～54 歳	100.0	25.5	67.4	0.9	6.2	-	100.0	12.9	73.8	2.4	10.9	-
55～59 歳	100.0	19.9	71.1	1.4	7.6	-	100.0	9.5	75.9	4.3	10.3	-
60～64 歳	100.0	15.6	75.5	1.7	7.2	-	100.0	5.5	78.3	7.9	8.3	-
65～69 歳	100.0	11.6	79.3	3.1	6.0	-	100.0	3.9	75.6	13.9	6.6	-
70～74 歳	100.0	7.1	82.4	5.8	4.7	-	100.0	3.1	68.7	21.2	7.0	-
75～79 歳	100.0	3.3	83.6	9.5	3.6	-	100.0	2.5	58.0	35.2	4.3	-
80～84 歳	100.0	2.3	82.1	13.3	2.3	-	100.0	1.9	42.5	52.7	2.9	-
85～89 歳	100.0	1.3	75.4	21.9	1.4	-	100.0	1.9	24.4	71.9	1.8	-
90～94 歳	100.0	0.9	61.1	37.2	0.8	-	100.0	2.0	9.7	86.5	1.8	-
95～99 歳	100.0	0.0	42.7	56.3	1.0	-	100.0	1.4	2.9	93.2	2.5	-
100 歳以上	100.0	0.0	6.7	86.6	6.7	-	100.0	2.4	1.2	94.0	2.4	-
2015 年構成比 (%)												
総 数	100.0	26.7	65.3	4.1	3.9	-	100.0	17.0	58.4	18.9	5.7	-

※構成比は配偶関係「不詳」を除いて算出

20～49歳までの年齢階級別に未婚率の推移をみると、2020年は男女ともにすべての年齢階級で未婚率が上昇しています（図4）。また、20～49歳までの総数で男女別に未婚率を比較すると、女性よりも男性のほうが10ポイント以上高い傾向が続いています（図5）。

図4 年齢階級（20～49歳）別未婚率の推移－2000年～2020年

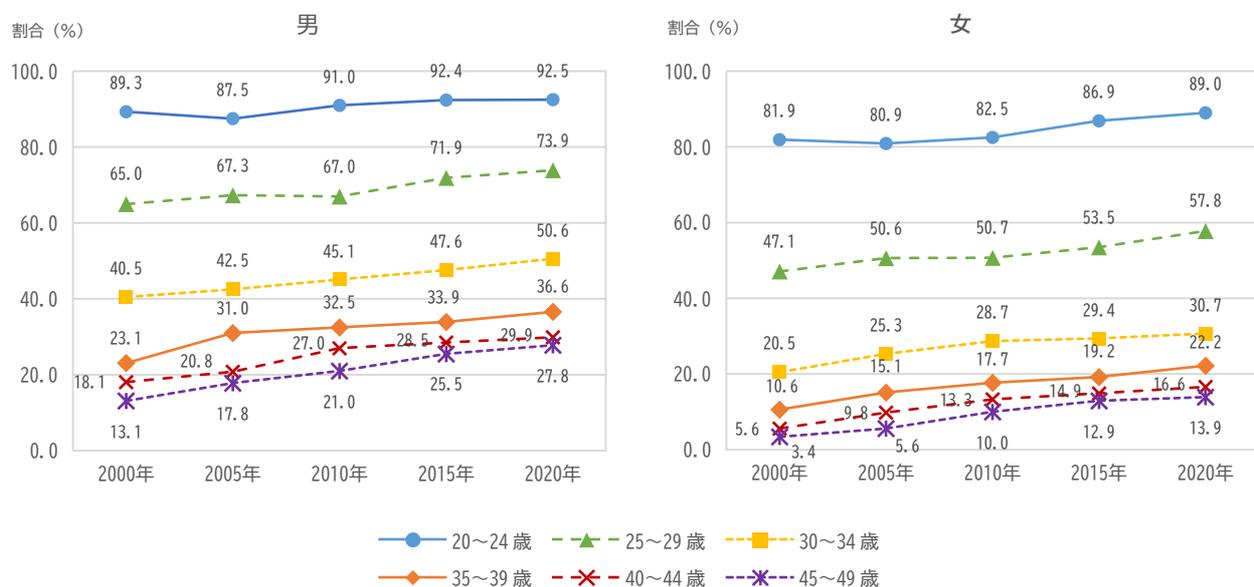
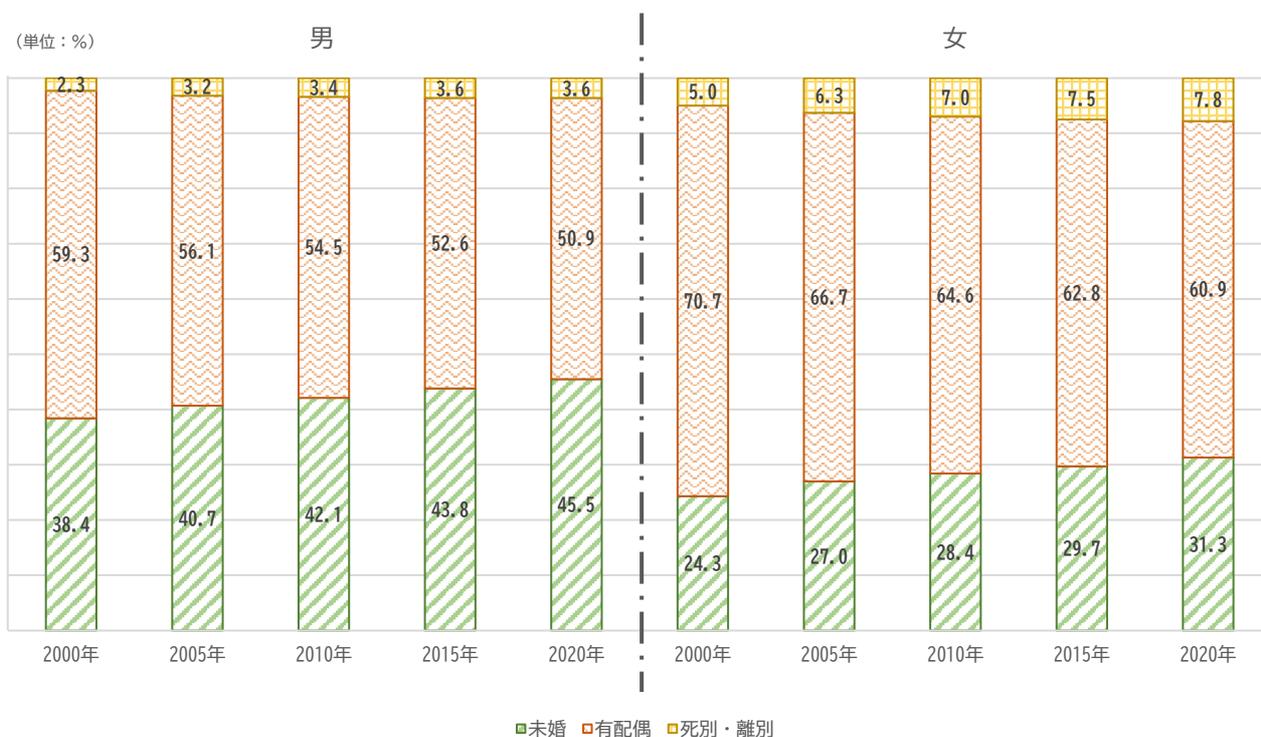


図5 20～49歳男女の配偶関係別構成比の推移－2000年～2020年



## 4 外国人

2020年10月現在で豊岡市に在住する外国人は633人で、2015年と比べて181人、率にして40.0%増加しました。豊岡市の総人口に占める割合（日本人・外国人の別「不詳」を除く）は0.8%となっています。

国籍別にみると、「ベトナム」が最も多く202人（外国人人口の31.9%）、次いで「フィリピン」が144人（同22.7%）などとなっています。「ベトナム」は前回調査から184.5%増と大幅に増加したほか、「フィリピン」も102.8%の増加となりました（図6、表4）。

図6 国籍別外国人人口と割合

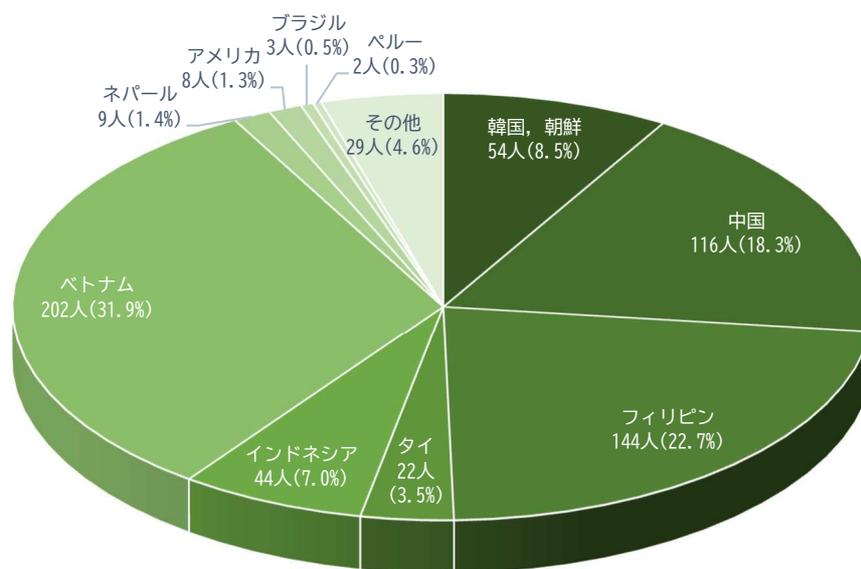


表4 国籍別外国人人口の推移－2015年～2020年

	実数(人)		増減数 (人)	増減率 (%)	割合(%)	
	2015年	2020年			2015年	2020年
総数	452 (0.6%)	633 (0.8%)	181	40.0	100.0	100.0
韓国, 朝鮮	62	54	△8	△12.9	13.7	8.5
中国	143	116	△27	△18.9	31.6	18.3
フィリピン	71	144	73	102.8	15.7	22.7
タイ	20	22	2	10.0	4.4	3.5
インドネシア	31	44	13	41.9	6.9	7.0
ベトナム	71	202	131	184.5	15.7	31.9
インド	0	0	0	-	0.0	0.0
ネパール	-	9	-	-	-	1.4
イギリス	1	0	△1	△100.0	0.2	0.0
アメリカ	16	8	△8	△50.0	3.5	1.3
ブラジル	3	3	0	0.0	0.7	0.5
ペルー	2	2	0	0.0	0.5	0.3
その他	32	29	△3	△9.4	7.1	4.6

※ネパールは2015年調査では「その他」に含まれる

※「その他」には無国籍及び国名「不詳」を含む

## 【参考】豊岡市の若者回復率

### (1) 2020年若者回復率について

豊岡市では、国勢調査結果を基にした若者回復率を調査年ごとに算出しています。若者回復率は、10代（10～14歳と15～19歳）の転出超過数に対する、20代（20～24歳と25～29歳）の転入超過数の割合を表しており、10代での高校卒業時を中心に豊岡を離れた若者たちが、20代でどれほど戻ってきているかの指標としています。

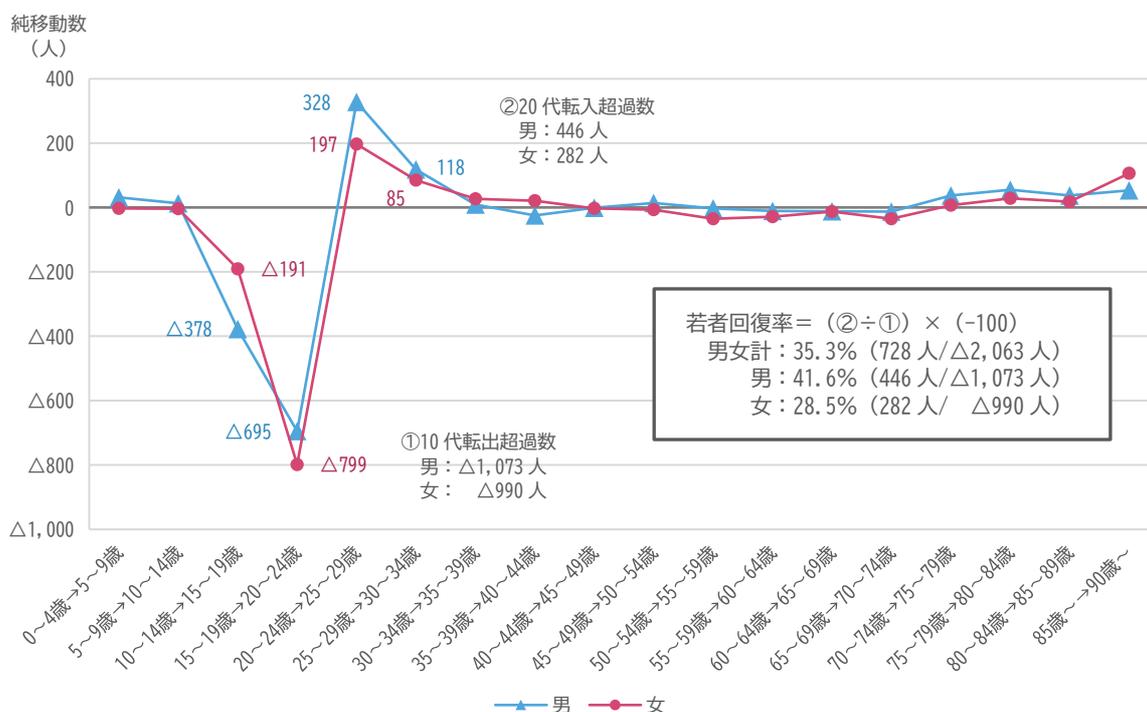
2015年から2020年期間の年齢性別純移動数から算出した若者回復率は、男性は10代での転出超過数が1,073人に対し20代での転入超過数は446人で、若者回復率は41.6%（前回比-10.6ポイント）、女性は10代での転出超過数が990人に対し20代での転入超過数は282人で、若者回復率は28.5%（前回比+1.8ポイント）となっています（図a）。

男性の若者回復率が低下した要因は、2015年から2020年期間の大半で日本全体の景気・雇用状況が好調であったため、都市部の大企業の若者人材の需要が大きく、男性の流出が拡大したためと考えられます。

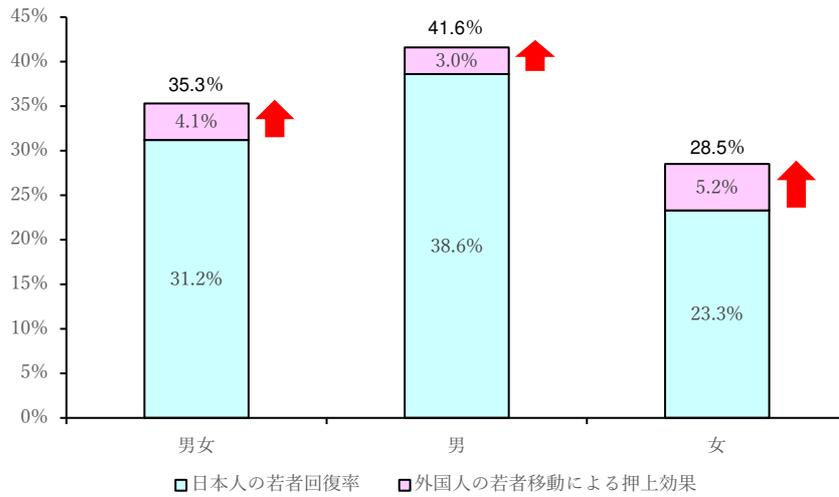
一方、女性の社会増減は、男性に比べると日本全体の景気・雇用状況には左右されにくく、日本人女性の傾向だけでみると前回とほぼ一定で推移していると考えられます。しかし、近年、市内企業の外国人技能実習生の受入れが急増しており、実習生が集中する20代の外国人住民の転入超過が、女性の若者回復率の顕著な押し上げ効果となっています（図b）。

押し上げ効果は男女ともにありますが、日本人女性の転入超過数が少ないため、外国人の転入超過による回復率の押し上げ効果は、男性よりも女性のほうが大きくなっています。

図a 年齢性別純移動数・若者回復率－2015年→2020年



図b 日本人のみで計算した若者回復率と外国人の若者移動（転入超過）による押上効果



中嶋圭介氏（神戸市外国語大学准教授、豊岡市地方創生戦略会議副座長）作成

(2) 若者回復率の推移

1980 年から 2020 年までの若者回復率の推移は、以下のとおりです。女性よりも男性のほうが、調査年間の数値の上下変動が大きいことがわかります（図c）。

図c 若者回復率の推移－1980年→2020年



### (3) 若者回復率で用いる数値等について

若者回復率は、期首と期末それぞれの年齢（5歳階級）別人口と生残率から純移動数を推計し、20代の純移動数の合計を10代の純移動数の合計で除した数値としています（表a）。

2020年若者回復率では、国勢調査人口のデータは、総務省統計局が年齢不詳人口を按分した、「不詳補完結果」を使用しています。また、生残率は、厚生労働省人口動態・保健社会統計室が提供している「平成27年市区町村別生命表」と「平成22年市区町村別生命表」から算出した、豊岡市の5年生残率を使用しています（作成時点では令和2年の市区町村別生命表が未提供だったため、上記で代用）。

純移動数・純移動率と若者回復率の関係性イメージは、以下のとおりです。

表a 純移動数・純移動率・若者回復率の関係性

	A 2015年国勢調査人口		B 2020年封鎖人口 (A×生残率)	C 2020年国勢調査人口		D 純移動数 (C-B)	E 純移動率 (D÷A)	
男	10～14歳	2,031	2,030	15～19歳	1,652	△378	△18.6%	
	15～19歳	1,888	1,882	20～24歳	1,187	△695	△36.8%	
	10代男性の転出超過数					①	△1,073	
	20～24歳	1,163	1,157	25～29歳	1,485	328	28.2%	
	25～29歳	1,714	1,706	30～34歳	1,824	118	6.9%	
	20代男性の転入超過数					②	446	
	若者回復率 = (②÷①) × (-100)						41.6%	
女	10～14歳	1,794	1,793	15～19歳	1,602	△191	△10.6%	
	15～19歳	1,892	1,890	20～24歳	1,091	△799	△42.2%	
	10代女性の転出超過数					①	△990	
	20～24歳	1,213	1,211	25～29歳	1,408	197	16.2%	
	25～29歳	1,565	1,562	30～34歳	1,647	85	5.4%	
	20代女性の転入超過数					②	282	
	若者回復率 = (②÷①) × (-100)						28.5%	

※国勢調査人口は、総務省統計局が年齢不詳人口を按分した、「不詳補完結果」を使用

#### 〔純移動数〕

現在の5歳階級別人口を、5年前の一つ下の階級に生残率を乗じた人口（＝封鎖人口）と比較することで、5年間の人口移動の増減を推計した値。

#### 〔生残率〕

生命表から算出した、ある年齢階級が5年間で生き残る確率。2015年人口に乗じることで、5年間人口の流出入が一切なかったと仮定した、2020年の封鎖人口を求めることができる。

#### 〔純移動率〕

純移動数を期首人口で除した値。人口規模に対する転出入超過の割合を、相対的に表すことができる。例えば、同じ「10代女性で1,000人の転出超過」であっても、5,000人から1,000人減っているのと10,000人から1,000人減っているのでは、その減少の規模が異なる。



第2期豊岡市地方創生総合戦略

第5版

2023年8月

豊岡市DX推進部経営企画課